

## さっぽろ雪まつり - すすきの会場があるすすきのとは

すすきのは札幌のナイトライフの中心地であり、ライトアップされた氷像がきらきらと飾られています。イベントは2月初め～中旬まで開催されます。期間中、すすきの大通りは通行止めになります。通りの中央には、地元のホテルやレストランのシェフが彫った60の精巧な氷像が並びます。氷像の多くが、2月4日にイベントがオープンした直後に開催されるコンテストに参加します。誰でも会場の5つの投票箱で自分のお気に入りに投票できます。

氷像には巨大なものもあり、すべての氷像に優れたスキルと忍耐が必要な繊細なディテールが施されていると言えるでしょう。現実の生き物や想像上の生き物が人気のテーマであり、過去の作品には巨大なウイスキーのボトルから、伝統的な衣装を着た日本の宮廷の人物などがありました。氷像は日中は明るくきらきらと輝いていますが、夜にライトアップされるとまったく別の表情を見せます。

すすきのは大通公園のすぐ南にあり、北のすすきの駅から南の中島公園に向かって通りに氷像が並びます。氷像はA～Fまでの6つの「ブロック」に分かれています。

来場者を最初に迎えるのは、巨大な氷の塔です。次はブロックAとブロックBで、メインの氷像が展示されています。

ブロックCには、コンテストに参加している氷像が展示されています。ブロックDには、インフォメーションセンターとアイスバーがあります。アイスバーは半透明の氷のレンガでできており、温かい飲み物を提供します。

ブロックEには、イルミネーションロードと呼ばれる光のトンネルと、氷像のデモンストラーションの会場があります。

ブロックFは、氷像と触れ合うことができる場所です。ここでは訪問者は氷の滑り台を滑り、氷の車に乗ることができます。また、このブロックには人気のテレビキャラクターの氷像もあります。